



今月の題字
中村 広 大 君
(轟木小3年)

町のわだい

飯岡の 父の短歌集を再出版 時代を詠んだ826首を収録

飯岡の深澤茂男さん(62)が、昭和39年に出版された父正一さん(雅号・峽村)の短歌集を自費で再出版しました。35歳で肺結核を患い、58歳で亡くなるまで短歌を詠み続けた正一さんは、風樹短歌会山田支部(現山田短歌会)を設立し、短歌の指導を行うなど町内における短歌活動の草分け的存在。茂男さんは「当時の様子が表れている短歌が多く、いろんな人に読んでほしい」と話しています。短歌集はA5判225頁で、826首を収録。昨年11月に500部が作成されました。短歌集を希望する方は深澤さん(☎82-3655)へお問い合わせください。



県技能競技大会職業訓練生の部 阿部さんと濱登さんが上位入賞

県技能競技大会自動車整備・職業訓練生の部で、宮古高等技術専門学校2年の阿部勝也さん(大浦・19)が金賞、同校の濱登幸司さん(船越・19)が銅賞に輝きました。大会は昨年11月13日に滝沢村で行われ、同部門には県内3校の代表6人が出場。エンジンを分解して部品を計測し再度組み立てるユニット部品測定作業など3つの競技の得点を競い合いました。その結果、阿部さんは最優秀賞となる金賞、濱登さんは銅賞を受賞し、金賞の阿部さんには合わせて県知事賞が贈られました。阿部さんは「受賞できてうれしいです。これからは勉強を重ね、さらに技術を向上させていきたい」と話していました。



いわてスーパーキッズに梶山さん 目指せトップアスリート

県教育委員会などが主催する「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」の第1期生に山田南小6年の梶山萌乃さんが選ばれました。県内からトップアスリートを輩出することを目的に小学5、6年生を対象とした3段階のテストが実施され、県全体で78人の児童が選抜。昨年12月16日には認定式が盛岡市で行われ、達増拓也知事から子供たち一人一人に認定証が手渡されました。梶山さんは「周りはみんなすごい子ばかりなので、緊張しています。体力をつけていろんなスポーツに挑戦し、自分に一番合う競技を探したい」と意欲をみせていました。今後は小学校を卒業する3月まで月1、2回の講座を受ける予定となっています。



金賞を受賞した阿部勝也さん(左)と銅賞を受賞した濱登幸司さん

本格的な降雪シーズンに備え 八千代地区自治会に除雪機

三陸国道事務所が実施する「ボランティアサポートプログラム」協定により、八千代地区自治会(吉川義男会長)に今年も歩道用除雪機が貸与されました。同プログラムは、自治会、同事務所、町の3者が協定を結び、地域住民が機械などの提供を受けて国道45号の管理をするものです。除雪機は昨年12月12日に届けられ、自治会の皆さんは保守管理会社の担当者から操作方法や使用上の注意点について説明を受けていました。同自治会は新田橋から北側の歩道約600m区間の除雪を行います。



女性セミナーが育英会に寄付 バザーの益金4万円を贈る

生涯学習の場として町教育委員会が開設する「やまだまち女性セミナー」(鈴木協子運営委員長)が、山田町育英会にチャリティーバザーの益金4万円を寄付しました。贈呈式は昨年12月17日に役場教育長室で行われ、鈴木委員長ら3人が出席。鈴木委員長が「町の将来を担う子供たちのために役立ててください」とあいさつし、育英会副会長の松尾光信教育長に寄付金を手渡しました。松尾教育長は「子供たちの向学心に応えるため、有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

山田高生徒が町内で職場体験 働くことの楽しさを実感

昨年12月5日から7日まで、県立山田高等学校(金野俊校長・生徒231人)ではインターンシップ(職場体験学習)を行いました。これは、生徒の職業観の育成を図るため平成17年度から実施されているもので、今回は同校1年生84人が参加。町内30事業所で勤務の大切さと意義を学びました。このうち、船越の理容室YANAGIには生徒3人が訪れ、指導を受けながらロッドの巻き方やシャンプー、ブローの方法などを学んでいました。参加した野田千香子さんは「仕事を覚えるのが大変だったけれども、少しずつ分かってきて楽しくなった」と働くことの喜びと楽しさを実感していました。

※この記事と写真は役場総務課へ職場体験に訪れた下村喜樹君が取材し、作成したものです。

